

2011年11月29日

変額年金保険の再保険会社設立について

MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社（社長 江頭 敏明、以下「MS&ADホールディングス」）は、三井住友海上プライマリー生命保険株式会社（社長 樋口 幸男、以下「三井住友海上プライマリー生命」）が販売する変額年金保険の再保険を引き受ける会社を、グループ内に設立します。

今後、関係当局の認可を前提として、三井住友海上火災保険株式会社（社長 柄澤 康喜、以下「三井住友海上」）の傘下に子会社を設立し、2012年1月から業務を開始します。

この再保険会社設立により、三井住友海上プライマリー生命では、変額年金保険の運用リスクなどを適切にコントロールすることができ、安定的な商品提供や新しい魅力ある商品を開発する体制が強化されます。

今後も、お客さまニーズに応じた商品を提供し、個人年金保険業界における地位を更に確固たるものとすることを、グループ全体で目指してまいります。

1. 新設する再保険子会社について

- 会社名・設立地：MS Financial Reinsurance Limited・英国領バミューダ
- 資本金・出資者：60億円・三井住友海上（100%出資）
- 事業内容：変額年金保険再保険の引受業務
- 引受先：三井住友海上プライマリー生命
- 開業時期：2012年1月1日（予定）

2. 最低保証リスクへの対応について

三井住友海上プライマリー生命の主力商品である変額年金保険は、運用成績が悪化した場合でも死亡保険金や年金原資などを保証する「最低保証」付きの商品が主力となっています。

新たに設立する再保険会社では、この最低保証リスクを、三井住友海上が有する金融取引やリスク管理のノウハウを活用し、デリバティブ取引などの金融市場を通じて、適切にコントロールしていきます。

その結果、新たなリスク管理体制が構築され、これまで以上に変額年金保険商品を安定的に提供することが可能となります。

3. 三井住友海上プライマリー生命の個人年金保険事業について

MS&ADインシュアランスグループでは、生命保険事業を重要な成長領域と位置づけています。

その中でも、三井住友海上プライマリー生命は、個人年金保険業界におけるリーディングカンパニーとして、変額年金保険と定額年金保険をバランスよく提供し、順調に業績を拡大してきました。

また、2011年4月1日に、三井住友海上プライマリー生命がMS&ADホールディングスの完全子会社となったことにより、グループ内の連携がさらに強化されるとともに、事業展開の機動力や柔軟性が一層高まっています。

以上

添付別紙：新体制のスキーム図

■新体制のスキーム図

